

運営基本方針

■男女共同参画の現状に関する基本認識

男女共同参画の取組みは、法令の制定や施設整備を通して<形式的な平等>を実現するとともに、労働と生活が両立できる<実質的な平等>を実現すべき段階に入っています。そのためには、子育て、介護、教育、労働など社会のあらゆる分野で領域横断的に男女共同参画の視点から取り組むことによって、社会慣行やシステムを変革していく必要があります。

■4つの視点で事業を展開

財団事業と受託事業を有機的に連携させ築き上げた専門性とネットワークを活かして行政、民間、地域、人をつなぎ、男女共同参画推進に寄与していきます。

